

JR東日本  
寄附講義

(11~12月開講)

# 世界が注目する 盛岡・岩手の アピール戦略を探る

盛岡は、ニューヨークタイムズ紙が「2023年に訪問すべき世界の都市」として盛岡を2番目に取り上げたことから、一躍世界から注目されることになりました。

世界の盛岡への注目は、盛岡を拠点とした岩手観光の振興にとって貴重な好機をもたらしています。

本講座は、岩手県内の観光関係者が集い、グローバルな視点から盛岡と岩手の今後の観光戦略のヒントを探り、県内の観光関係者の交流・連携を強化することを目的とします。

なお、講座修了者に対しては「修了証明書」を授与します。



令和5年度

## いわて観光 グローバル人材 育成講座

ところ

岩手大学図書館 2階【A02】  
生涯学習・多目的学習室

受講料

無料

一部実費負担/  
フィールドワーク時の飲食費等

定員

15名 [申込みは **10月20日(金)** まで]

対象者

岩手県内の観光関連従事者等

- ・各市町村で観光関連業務に従事している方
- ・ホテル、旅行会社などの業界で従事している方
- ・地域おこし協力隊の方
- ・地域づくり、観光に興味のある方

問合せ  
申込み

岩手大学 地域社会教育推進室

〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号  
☎ 019-621-6624 / 6492 ■ pedagogy@iwate-u.ac.jp

主催 / 国立大学法人岩手大学 後援 / 盛岡市 岩手県

講座の詳細・申込はこちら

<https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/community/>



# 岩手大学 リカレント教育プログラム

## 令和5年度 いわて観光グローバル人材育成講座

カリキュラム

(原則として全日程参加)

11月9日(木)	8:40 ~ 8:50	開講式	岩手大学 地域社会教育推進室
	8:50 ~ 10:20	着地型観光、若者の参画、これからの東北(北東北)の観光コンテンツ開発の視点	(株)インアウトバウンド仙台・松島 西谷 雷佐
	10:30 ~ 12:00	自然資源を活用した教育旅行／震災復興支援の取り組みを踏まえた観光計画論(仮)	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 山本 清龍
	13:00 ~ 14:30	アフターコロナにおける新しい観光 ※オンライン開講	(株)ライフブリッジ 櫻井 亮太郎
	14:40 ~ 16:10	地域の魅力の見つけかた	弘前市移住定住促進アドバイザー／弘前大学 非常勤講師 野口 拓郎
	16:20 ~ 17:50	【グループワーク】参加者自己紹介・意見交換	
11月15日(水)	8:40 ~ 9:40	地域と連携したJR東日本の観光への取り組みについて	東日本旅客鉄道(株) 盛岡支社 地域共創部 地域連携ユニットリーダー 小坂 一将
	9:50 ~ 10:50	岩手県観光業の現状と方策	岩手県 商工労働観光部 観光プロモーション室 室長 高橋 利明
	11:00 ~ 12:00	アフターコロナの広域観光のあり方	(一社)東北観光推進機構 理事長 紺野 純一
	13:00 ~ 14:00	歩いて楽しむまち盛岡	盛岡市 交流推進部 観光課 課長 藤谷 徹
	14:10 ~ 16:30	【グループワーク】フィールドワークの準備作業	
11月23日(木・祝)	9:00 ~ 11:30	【フィールドワーク】盛岡の魅力を探る	
	13:00 ~ 16:30	【グループワーク】フィールドワークの振り返り	
12月9日(土)	13:00 ~ 15:30	【受講者プレゼン】これから取り組みたいアクションプラン	
	15:40 ~ 17:00	【ディスカッション】観光振興のための連携をどう進めるか?	

### 昨年度の実施風景(フィールドワーク、受講者プレゼン)



アクセス

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

- JR盛岡駅からバス 約10分  
バスターミナル11番のりば  
・駅上田線 松園ターミナル行き「岩手大学前」下車  
・駅桜台団地線 桜台団地行き「岩手大学前」下車

※お車で越しの方は事前にお知らせください。



約10分



約30分

岩手大学 地域社会教育推進室

〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号

TEL 019-621-6492

E-mail pedagogy@iwate-u.ac.jp